

認定看護師制度の再構築

これからの20年も、ますます力を発揮し続けられる
魅力ある認定看護師制度を目指していきます



これからの超高齢社会に向けた医療ニーズの変化

疾病構造の変化

複数の疾病を抱える
対象の複雑化

医療提供体制の転換

病院中心の医療から
地域・在宅へ医療の場が拡大

医療を受けながら病気とともに
生活する人が増加するために
「治す医療」から「治し支える医療」
へと転換が必要

認定看護師制度再構築のポイント

1 認定看護師教育に特定行為研修を組み込みます

▶ 新たな認定看護師教育

看護の専門性を基盤とした認定看護師教育に臨床推論や病態判断などの医学的知識をベースとした特定行為研修の内容を加えることで、臨床推論力、病態判断力が強化された骨太な認定看護師の養成が可能になると考えています。

認定看護師教育

看護の専門性を基盤とした教育

特定行為研修

臨床推論力、病態判断力を強化する教育

臨床推論力、病態判断力が
強化されることで
あらゆる場のニーズに応えられる
認定看護師を養成できます

2 現在ある認定看護分野を基盤として分野を再編します

▶ 分野に対する基本方針・分野再編の考え方

- 小児から高齢者まで、複雑化する疾病を抱える人々に対して急性期医療から慢性期医療に広く対応できる編成にします。
- 地域へと広がる医療ニーズに貢献できる編成にします。



生きるを、ともに、つくる。

新たな認定看護師制度の基本方針

新たな認定看護師制度の目的

特定の看護分野において、熟練した看護技術及び知識を用いて、**あらゆる場で看護を必要とする人に対して**^{※1}、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりや看護の質の向上を図ることを目的としています。

新たな認定看護師に求められる役割

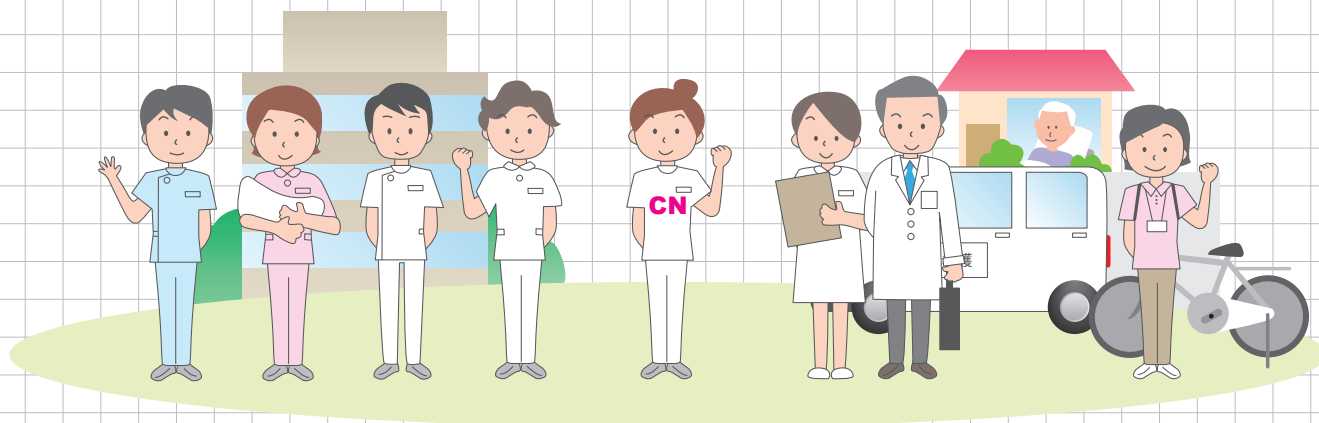
新たな認定看護師制度になっても、認定看護師の役割である「実践」「指導」「相談」の3つの柱は変わりませんが、「実践」「相談」が骨太になります。

実践	特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、 高い臨床推論力と病態判断力に基づき ^{※2} 、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する
指導	特定の看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行う
相談	特定の看護分野において、看護職 等 ^{※3} に対しコンサルテーションを行う

※1▶地域へと看護現場が広がることから、**あらゆる場で看護を必要とする人に対して**を追加しました。

※2▶特定行為研修を組み込むことにより、高い臨床推論力と病態判断力が認定看護師に備わることで、実践が強化されることから**高い臨床推論力と病態判断力に基づき**を追加しました。

※3▶現在、相談の対象は看護職としていますが、現行の認定看護師が看護職以外からも相談を受けている実績と、今後、地域へ参画することによって医療職以外にも相談対象が広がることを予測されるため**看護職等**を追加しました。



認定看護師制度再構築に関する情報は、随時、公式ホームページに掲載していきます。

問い合わせ先：日本看護協会 看護研修学校 認定看護師制度再構築準備室 ky-saikochiku@nurse.or.jp

<https://www.nurse.or.jp/nursing/cn/index.html>

日本看護協会 認定看護師制度再構築

